

時間がない！ 政府は親の世代が存命のうちに全拉致被害者の即時一括帰国を実現せよ！ 国民大集会

家族会・救う会は、今年2月16日に合同会議を開催し「今後の新運動方針」を決めました。そして新しいスローガンを、「時間がない！ 政府は親の世代が存命のうちに全拉致被害者の即時一括帰国を実現せよ！」としました。

その前日2月15日に有本明弘さんが亡くなられていたことを17日に知りました。「親の世代」が横田早紀江さんだけになり、「親の世代の家族が存命うちに」という私たちの前提条件を巡る状況は一段と厳しくなりました。

私たちは「今後の新運動方針」で、「親の世代の家族が被害者と抱き合うことなしに拉致問題の解決はない。もし、この期限内に全拉致被害者の一括帰国が実現しなかった場合、私たちは強い怒りを持って独自制裁強化を求める」と決めています。

アメリカでは、1月20日、トランプ大統領が2度目の大統領就任式を行いました。金正恩氏にとっては、1期目のトランプ氏と既に首脳会談を行ったことがあるだけに、また極めて厳しい現状を打破するために、改めて米朝首脳会談を期待しているだろうと思われます。あるいはその前に、日朝首脳会談を考慮しているかもしれません。

中朝関係は非常に厳しい関係となっており、これまで北朝鮮の市場に並んでいた品々はほとんど中国製品で、中国の人民元で売り買いされていましたが、ロシアがウクライナ戦争を始め、北朝鮮が中国への報告なしにロシアに協力し始めたため、中朝関係が最悪となり、市場に中国製品がほとんど出回らなくなっています。

韓国に関しては、金正恩の祖父金日成、父金正日が定めた国是を否定し、韓国との統一はしないことにしました。「民族」という言葉も否定しました。憲法にもそれが書き込まれ、日本の朝鮮総連系の学校の教科書は「墨塗り教科書」になっています。

韓国の現状やドラマ等がUSBやチラシ等で北朝鮮に伝わり、多くの人民が韓国の豊かさ等を知ってしまい、韓国にあこがれるようになったため、こういう強硬措置を取ったのです。そして今、北朝鮮をめぐる国際情勢も国内情勢も非常に厳しいものとなっています。

北朝鮮のピンチはチャンスです。「米朝首脳会談があれば拉致を提起する」とトランプ大統領は石破総理に話しました。だからこそ新運動方針では、「日本が北朝鮮を支援する条件は核・ミサイル問題の解決だけでなく全拉致被害者の一括帰国だと内外に訴えよ」と政府に求めました。石破総理が国会答弁などで言及している「連絡事務所」は時間稼ぎにしかありません。

今こそ、全拉致被害者の即時一括帰国を求める怒りの声が必要です。北朝鮮が注目している国民大集会に、救出のシンボルであるブルーリボンバッジをつけて是非お集まりください。

令和7年5月24日(土) 午後2時～4時 シェーンバッハ・サボー



と き 令和7年5月24日(土) 午後2時から4時まで

開 場 午後1時(先着順)

と ころ 砂防会館別館1階、シェーンバッハ・サボー

東京都千代田区平河町2-7-4 TEL:03-3261-8386

地下鉄永田町駅(有楽町線・半蔵門線・南北線)4番出口徒歩1分

5番出口(都道府県会館前)はエレベーターあり

赤坂見附駅(銀座線・丸ノ内線)が永田町駅に接続

登壇者 司会：櫻井よしこ、石破茂内閣総理大臣(要請中)、

林芳正官房長官・拉致問題担当大臣(要請中)、

家族会・救う会代表、拉致議連代表、知事の会代表、地方議連代表、

各党代表、特定失踪者家族会代表

参加費 無料(会場カンパ歓迎)

✂ キリトリ線

◆国民大集会参加票 警備上の必要のため、当日ご持参を。

お名前		電 話	-	-
住 所	〒			
同伴者(同居されている方) お名前				

◆石破首相面会時の横田拓也家族会代表の冒頭挨拶

今年2月20日、首相官邸で、家族会・救う会が石破茂首相に面会した折の横田拓也家族会代表の冒頭挨拶は次の通りです。

◆怒りの気持ちをお伝えします

本日は国会会期中の大変お忙しい中、家族会との面会のお時間を頂きましてありがとうございます。

既にご承知頂いている通り、2月15日未明に家族会の有本明弘さんがご逝去されました。拉致された恵子さんとの再会を実現すべく、お母様の嘉代子さんと二人で全身全霊をささげて戦い続けました。嘉代子さんが2020年にご逝去されてからは車いすで上京されながら娘との再会を政府に必死に求め続けてきましたが、残念ながらその当たり前の要求は叶う事がありませんでした。どれだけ無念でどれだけ悔しいか、そのことを思うと言葉が見つかりません。ご冥福を祈るばかりです。

何故、主権侵害されているにもかかわらず私たち家族の人権は無視されたままなのでしょうか。なぜ私たちの必死な叫びは放置され続けるのでしょうか。なぜ国家は無実の拉致被害者を取り戻すために何もしようとしないのでしょうか。日本国憲法で保障されている私たちの人権・尊厳・自由はどうしてここまで国家によって無視され続けるのでしょうか。こうした不作為は国家が被害者である私たちに寄り添っていると言えるのでしょうか。

この答えを私たちに対して、国民に対して示してほしいと思います。この様な非道なことが許されていい訳がありません。

そのことを亡くなられた明弘さんの気持ちも代弁する形で怒りの気持ちをもってお伝えします。

家族会・救う会は2月16日に令和7年の運動方針を決定致しました。詳しくはお手元にお配りした資料や今年2月16日のメールニュースをご高覧願えればと思います。

「全拉致被害者の即時一括帰国」という要求の水準は変わりません。また親世代の家族が存命の内に拉致被害者との再会を果たせることをタイムリミットとしていることも変わりません。それが叶わなければ私たちは対話から制裁・圧力強化に軸足を移すと共に、日朝国交正常化に対して強く抗議することを、改めてこの場でお伝えします。

◆速やかに全拉致被害者の即時一括帰国実現を

最後に、1月31日の衆議院予算委員会の中で石破首相は日朝連絡事務所設置について、「交渉するにあたり連絡事務所があることはそれなりに有効なことだと思っている。しかしながら、北朝鮮の術中にはまるという反対意見があることもよく承知している。検証して行かなければならない」と発言されました。私たちは昨年10月17日に官邸で面会させて頂いた際を含めて、あらゆる機会を通じてこの連絡事務所と合同調査委員会の設置に対して強く反対していることをお伝えしています。北朝鮮の時間稼ぎと幕引きの工作に加担して欲しくありません。連絡事務所設置によってこの問題の可視化は期待出来ません。私たち被害者家族の気持ちに寄り添って頂き、要求の水準を変えないで欲しいということを強くこの場でお願ひする次第です。

権限が無い連絡事務所に進展を委ねるのではなく、決裁権を持つ金正恩委員長との首脳会談を速やかに開催頂き、速やかに全拉致被害者の即時一括帰国を実現頂けますよう宜しくお願い致します。

もうこれ以上待てません。これ以上私たちを苦しめないで下さい。連絡事務所設置を論じている段階ではありません。速やかに日朝首脳会談を実施頂き、日本の地で家族との再会が実現するよう行動頂けますよう宜しくお願い致します。

有難うございます。

警備の都合上、大きな荷物、長い棒、団体の旗、スピーカーは持ち込まないでください。
特定団体の制服での参加もご遠慮ください。

石破首相に全拉致被害者の即時一括帰国の実現を求める、はがき・メールを！

〒100-8968 千代田区永田町2-3-1内閣総理大臣 石破茂殿
首相官邸のホームページ=<http://www.kantei.go.jp/>の「ご意見募集」利用

5/24 国民大集会

主催 北朝鮮による拉致被害者家族連絡会（代表 横田拓也）
北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会（会長 西岡 力）
北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟（会長 古屋圭司）
北朝鮮による拉致被害者を救出する知事の会（会長 黒岩祐治）
拉致問題地方議会全国協議会（会長 松田良昭）

事務局 救う会 〒112-0013東京都文京区音羽1-17-11-905
電話03-3946-5780 FAX03-3946-5784 担当＝平田隆太郎
info@sukuukai.jp <http://www.sukuukai.jp>（署名用紙・ちらしのダウンロード可）

募金先 郵便振替口座 00100-4-14701「救う会」／ゆうちょ銀行 店名019 当座 0014701
みずほ銀行 池袋支店（普）5620780 救う会 事務局長 平田 隆太郎（ヒラタ リュウタロウ）